

フォーラム

参加費無料

新しい絆

第32回

コロナ禍を乗り越えよう！
～新しいフォスターケアを目指して～

新型コロナウイルスの広がり、里親家庭と子どもたちに様々な影響を与えています。一斉休校や外出自粛の中、実家族や支援者との交流ができなくなったり、慣れない感染予防対策に振り回されることも少なくありませんでした。

一方で、子どもと向き合う時間が増え、関係が深まったとの声も聞こえてきます。

コロナ禍は確かにリスクと不安を伴います。しかし、大切に本質的な事柄と向き合う機会を与えてくれました。

わたしたちファミリーシップふくおかは、コロナ禍における子どもたちの声に耳を傾け、新しいフォスターケアをめざして歩を進めて参ります。福岡で見られ始めた新たなチャレンジを、皆さんとともに共有させてください。



第1部

基調講演

「コロナ禍のもとの子どもたち」

山田 真理子 さん (NPO法人子どもと保育研究所ふるほ所長、九州大谷短期大学名誉教授)

第2部

トークセッション

福岡から発信する 新しいフォスターケア

日時

2020年10月10日(土) 13:30~16:30

参加方法

オンライン参加 または 会場参加(先着20名)

会場

福岡市中央市民センター 視聴覚室 (福岡市中央区赤坂2丁目5番8号)

お問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡
TEL&FAX 092-716-5095 E-Mail info@npoccf.jp

京都大学大学院教育学研究科修士・博士課程修了。京都大学では河合隼雄氏のもとで心理臨床、箱庭療法などを学ぶ。心に寄り添える保育者養成の必

フォーラム「新しい絆」とは

＜家族と暮らせない子どもたちに里親家庭を＞の願いを共有した市民と福岡市との共働事業「新しい絆プロジェクト」の一環として、年2回開催しています。実行委員会を「ファミリーシップふくおか」と呼びます。福岡市では、これまでの市民・行政の共働が大きな力となり、社会的養護の子どものうち、里親家庭で暮らす子どもの割合は50%以上となりました。施設から家庭への転換が国際的に進められていく中で、福岡市のこれまでの取り組みや経験が全国的に注目されています。



福岡アピール「社会全体に広げよう、支えよう、里親と子ども」より

子どもは、家族と離れ、胸いっぱい不安をかかえながら、その人を待っています。里親は、自分の家庭を社会に開き、その子を迎え、深く、温かいふところを抱きとめます。子どもと里親の出会い。地域に支えられ、子どもに愛と希望を取り戻し、生きる力を与える里親のものがたいを、私たちはたくさん経験してきました。

子どもたちが身をもって教えてくれたこと。それは、子どもにとっての「家庭」の大切さ。国連子どもの権利条約はいいます。「子どもは、その人格の完全なかつ調和のとれた発達のため、家庭環境の下で、幸福、愛情及び理解のある雰囲気の中で成長すべきである」と。家庭で暮らすことは、「子どもの権利」なのです。

皆様に呼びかけます。

1. 家族と暮らせなくなった多くの子どもたちのことを、広く社会全体に知らせ、里親への参加を呼びかけましょう。
2. 「子どもと里親」、地域で支援を求めるすべての「子どもと家族」を支えるしくみづくりをめざし、市民、政府・行政、専門家、企業、メディアもつながりあって、協働しましょう。
3. 子どもが大人として社会に巣立っていく道のりを、社会全体で応援しましょう。
4. しきみづくりにあたっては、子どもの意見に耳を傾け、尊重しましょう。

2015年9月「里親推進フォーラムin福岡」でのアピール文の一部です

オンライン参加の方は、お申し込み後参加リンクをメールにてお送りしますので、できる限り

申込フォームQRコード

※子どもNPOセンター福岡のHPからもお申し込みできます。

申込フォーム(グーグルフォーム)からのお申し込みをお願いいたします。

希望参加方法

オンライン参加・会場参加 (どちらかに○をお付けください)

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

TEL /

E-mail

所属

今後フォーラム等のお知らせ(メール)を希望 する しない

お問い合わせ
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡

TEL&FAX 092-716-5095 E-Mail info@npoccf.jp ホームページ <https://npoccf.jp>